

平成21年度

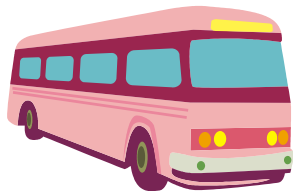
# 地域交通支援モデル事業の 採択結果

交通政策部 空港・交通課

# 事業の背景

## これまでの公共交通

- ・路線バス
- ・コミュニティバス
- ・タクシー



満たされていないニーズがある

## 高齢者等 交通制約者の声

高齢になったので  
免許を返納したところ  
地域に交通手段がなく  
困ってしまった…



バス停が遠いから、歩いて行くのも一苦勞。通院も買物も大変…

## 公共交通の拡充

- ・市町村運営有償運送
- ・福祉有償運送
- ・過疎地有償運送

H18.10 ~ 改正道路運送法で創設



## 【地域交通支援モデル事業】

バスやタクシーを補完するものとしてよりきめの細かい  
新たな地域交通のしくみづくり

社会福祉協議会、NPO、自治会等によるアイデアや人材を活用した自立的、自発的な取組を支援

# モデル事業の応募状況

実施主体の公募  
(4月10日～6月30日)

6件の応募

採択3件

**実証実験**

(需要調査、計画策定、試験運行、検証)

本格運行・他地区での展開  
につなげる

## 採択の基準

- (1) 新規性
- (2) 実現性
- (3) 持続性

## 佐賀県地域交通支援モデル 事業費補助金

市町

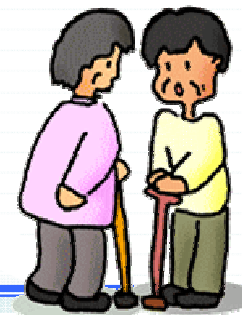
補助率2/3

限度額450万円

市町以外

補助率10/10

限度額200万円

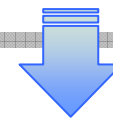


# デマンド型乗合タクシー

採 択

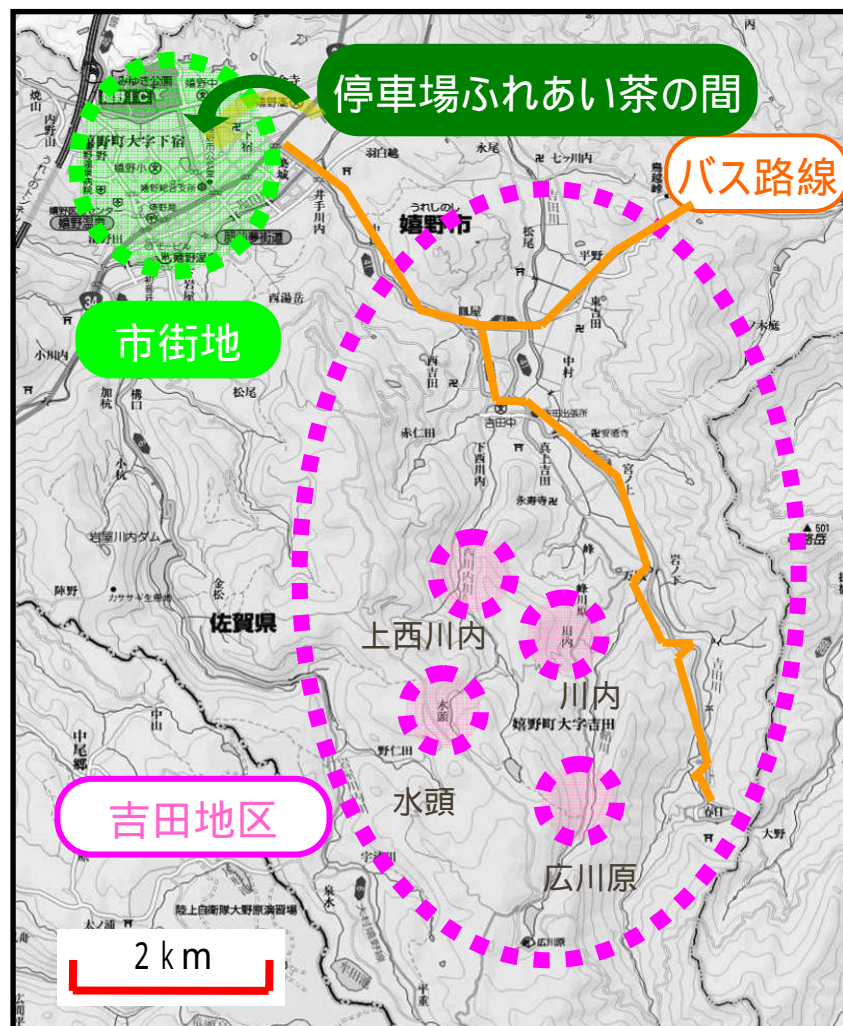


世帯数約5,800戸、約18,400人  
高齢化率21.6%  
町内を結ぶ公共交通は、廃止  
路線代替バスとして町が運行  
する循環バスがあるが、3路  
線週2回ずつ運行で利用が少  
ない(目的地まで時間がかか  
る、運行回数が少ない)



基山町が、  
タクシー会社に委託して、  
自宅と登録地(駅など)  
との間を無償で乗合タク  
シーを運行。

### 嬉野市吉田地区



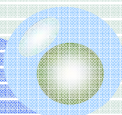
10集落、約870戸、約2,800人、  
高齢化率約36%

市街地まで約10 km

最寄バス停（運行回数3～4回/日）  
まで5 km以上ある集落があり  
（広川原、水頭、上西川内など）不便



NPO法人こだまが、  
デイサービス送迎車を  
活用して、  
「茶の間」  
（お茶サービス等を行う世代間の交流の  
場、場所未定）と自宅との間  
を無償運送。



# ボランティア無償運送

採 択



約8,600人(旧中原町)  
 高齢化率約21%  
 東西路線に比べ、南北路線は  
 便数が少なく不便  
 (バス路線：東西20回/日、  
 南北11回/日)



NPO法人  
 中原たすけあいの会が、  
 NPO所有車両で、  
 中原庁舎を中心とした東西  
 南北を定路線で巡回する無  
 償運送。

# H20年度のモデル事業の取組状況

## 地域交通支援モデル事業

### 【伊万里市東山代町】 定時定路線型貸切バス

地元自治会が  
住民主導のダイヤ編成を行う  
貸切バスを運行し幹線交通と結節



#### 20.8.12 実証実験スタート

- ・運行時間、経路、料金等の検討に半年以上かけ、平成21年4月から試験運行を開始
- ・順調に利用が図られたため、7月に実証実験を終了し、8月から本格運行に移行

### 【玄海町全域】 自家用無償旅客運送

町社会福祉協議会が  
保有する車両の遊休時間を活用し  
住民を無償運送



#### 20.8.12 実証実験スタート

- ・平成20年11月から試験運行を開始、その結果を踏まえ、21年1月に経路等を見直し
- ・その後、順調に利用が図られたため、5月に実証実験を終了し、6月から本格運行に移行

### 【佐賀市大和町川上校区】 デマンド型貸切バス

地元自治会が  
住民の需要に応じて  
集積地への貸切バスを運行



#### 20.8.12 実証実験スタート

- ・平成20年10月～11月は定時定路線運行
- ・12月～1月はデマンド方式で運行
- ・いずれの運行も利用者が見込みを下回ったこと等から、1月末で実証実験終了

# H20年度のモデル事業の成果の活用

実施地区	成果	今後の取組への活用
伊万里市東山代町自治会	<p>地元調整等に奔走するキーマンの存在 住民の意見を反映した手づくりの運行ルートやダイヤの設定 民地へのバス停の設置 マイバス意識の醸成 MRとの乗継改善(待ち時間の短縮) 高校等の通学便の創設(早朝、夕方)</p>	<p>成功事例として、今後、他地区での展開に生かしていく</p>
玄海町社会福祉協議会	<p>デイサービス送迎の遊休車両活用のアイデア 早朝便(7時台)の創設及び最終便をデマンド方式に変更し、利用者同士の口コミで広がった 全戸対象ケーブルテレビでPR(ネット4)</p>	<p>成功事例として、今後、他地区での展開に生かしていく H21年度採択事業の参考</p>
佐賀市大和町川上校区	<p>(実証実験終了の要因) 事前アンケートで(時々)利用するとの回答は592人 / 1268人(46.7%) 実際の利用は9人/日 全ての地域をカバーしようとしたため運行ルートが非効率 デマンド運行のメリット(ドアツードアで目的地まで行くことができる)のPR不足</p>	<p>アンケート結果はうのみにできない 利用すると答えた人の1/10程度しか利用しなかった 定時定路線型の場合は乗車エリアの絞り込みにより、運行ルートを効率化すべき デマンド運行は事前予約が必要であり、手続きに不慣れな高齢者等へはPRに時間をかける必要</p>



# 持続的な取組のための解決すべき課題

- 1) 緑ナンバーによる取組は、交通弱者のロットが小さいため、運送収入のみでは事業として成り立たない
- 2) 白ナンバーによる取組は、経費は抑えることができるが、道路運送法上の制約から実費(人件費、車両償却費、保険料等)であっても受け取ることができないものがある



いずれも赤字が見込まれる

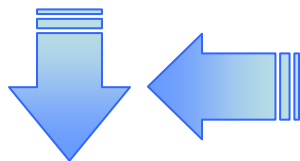


赤字負担のスキーム(地区住民による負担や市町の支援など)が必要

# 今後の取組

## 地域交通支援モデル事業の実施

広く周知



成功事例

他地区での展開

### モデル類型

- ・定時定路線型貸切バス(1件) } H20
- ・自家用無償旅客運送(1件) }
- ・デマンド型乗合タクシー(1件) } H21
- ・ボランティア無償運送(2件) }

他地区展開を行うための支援の検討(H22)

## 地域の移動手段の確保

高齢者等が地域の中で  
安心して暮らせる社会に

公共交通機関  
の利用促進

自動車の  
共同保有・利用

マイカー  
相乗り促進

低炭素社会の実現